

DMS「インターネット版」登場！ 会計ソフト「e酪農経営SaaS」提供開始

全酪連の酪農家経営管理支援システム(DMSシステム)について、インターネットを経由して利用する「e酪農経営SaaS」が誕生しました。※関連記事：本誌9頁

■DMSシステムとは

DMSシステムは、月次決算を行い、日々の経営管理を徹底するためのシステムです。その場しのぎではなく、5年後、10年後を見据えた牧場経営のシミュレーションを行い、経営管理と飼養管理を一体化したサポートを実現します。経営管理の副産物として青色申告書も作成することができます。

■SaaS(ソース)とは、何か？

SaaS = Software as a Service

「ソフトウェアの機能をインターネット経由で利用する」ソフトウェアをユーザーPC側に導入するのではなく、プロバイダ側で稼働すること。身近なもの

としては、銀行のインターネットバンキング・ホテルの予約システム等です。

■SaaS化の目的

- (1) 個人情報保護のため
- (2) データ紛失、PC破損のリスクをなくするため
(データはSaaSセンターで保管)
- (3) 自宅でも、同一画面を見ながらの質問や、説明を受けることを可能にするため
- (4) 消費税改正・申告書の書式変更等、プログラムを最新の状態に保つため
- (5) 目まぐるしく変わるOSに対応するため

■料金体系 ※従来通りの料金です。

プラン	Aプラン(基本プラン)	Bプラン(記帳代行)	Cプラン(決算)
月額料金(税抜)	3,000円	18,000円～ ※伝票枚数によって料金が変わります。	個人 118,000円～ 法人 218,000円～ ※プランは要相談
サポート内容	① e酪農経営導入支援 ② シミュレーション・経営計画作成 ③ 経営検討会	Aプランの内容に加えて、入力代行	Bプランの内容に加えて決算代行

■今後のSaaS移行

利用者区分	内容
既にDMSを利用されている方	平成27年度移行に向けて、順次移行開始する。 広酪では入力会でのインターネット接続環境の整備・自宅回線の状況確認のうえ移行支援を行います。
これから加入される方	自宅でのインターネットの接続環境が必要となります。

「トライアングル雌雄判別精液」 一部にジャージー種の精液混入の疑い

全酪連から販売預託事業において受託牧場で授精したトライアングル雌雄判別精液「511H09978 クリアエコー アルタトライアングルET(採取年月日2013年6月11日)の一部にジャージー種(11JE01122)の精液混入の疑いがあることが判明したと通知がありました。

全酪連では、生まれた仔牛が有色(茶色や黒系な

ど)の斑紋や爪の色が茶系などの疑わしい仔牛が生まれた場合は、DNA型の検査を実施し、検査費用は一括してアルタジャパン(株)【北海道帯広市】に請求することとしています。

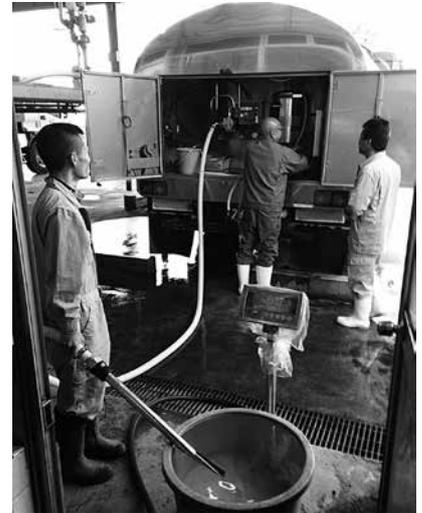
また、検査でF1仔牛(ホルス×ジャージー)と判明した場合は別途相談するとの見解を得ておりますので、該当がありましたらご連絡下さい。

集乳車両 17 台 電磁流量計等の定期精度検査実施

広酪では、組合員の皆さんが生産された生乳の適正な集乳と受託を行うため、10月8日から10日の3日間、県内で集乳業務にあたる全集乳車両17台を対象に搭載する「電磁流量計」の精度検査、「オートサンプラー」の適正サンプリングの確認、ふき取りマスターやATP測定用試薬を使った洗浄状態の衛生確認検査を行いました。



(洗浄状態を確認する清水係長〈左〉と上主任)



(50ℓ、100ℓ、150ℓの水を吸って電磁流量計の精度を測定する集乳運転手)

街宣車で 「TPPを考えて」

BSE、
e.t.c
残留農薬
外資企業優先
地方の不採算病院撤退
医療サービス自由化
食料自給率13%



TPP交渉は日米閣僚協議が行われ、双方の主張に歩み寄りが見られないまま終了し、日米2カ国の協議が物別れに終わったことで、TPPの全体交渉も年内合意は不透明な情勢となっています。

広酪では、広島県農協農政協議会(事務局:JA広島中央会)から街宣車を借り受け、平成26年9月から10月迄の2か月間、TPP反対の街宣活動を実施しています。

車載スピーカーからは、食糧・医療・経済に至る国民の不利益事項をアナウンスし、「もう一度TPPについて考えてみませんか」と呼びかけています。

STOP! 農作業事故 あなたの地域から広がる「農作業安全」

広島県内での農作業事故は平成18年の907件をピークに毎年減少を続けており、平成24年は429件まで減少したものの、平成25年は475件に増加する等、依然として農業就業人口に占める事故割合は増加傾向にあります。

農作業機械の使用や牛に触れる作業では特に注意を払い、また、農作業事故の防止を周囲へ呼びかける等、地域から農作業安全を広めましょう。

※酪農作業事故を防ぐポイント

- ・ホイールローダーでの作業は、周囲に十分気をつける。
- ・フォークリフト等を運転する際は、ヘルメットを装着する。
- ・バークリーナーの点検や調整は、機械を止めて行う。
- ・牛による接触事故を防止する為、除角を徹底する。
- ・搾乳中や種付けの際は注意し、牛を背にした作業は避ける。
- ・牛の移動は、補助員と一緒にいる。